

有秋地区行動計画

平成30年度～平成33年度



有秋地区行動計画策定委員会
平成30年3月15日策定

【目次】

有秋地区行動計画策定委員名簿	1
策定委員長（地区社協会長）あいさつ	1
1. 「有秋地区行動計画」策定の背景と目的	3
2. 計画の期間	3
3. 計画の推進圏域と体制	3
4. 有秋地区の地域特性と課題	4～6
5. 地域づくりの「基本理念と目標」	7
(1)基本理念	7
(2)基本目標	7
6. 有秋地区行動計画体系整理表	8
7. 計画の進行管理	9
《資料編》	
1. 有秋地区にある社会資源	9～10
2. 有秋地区広報	10
3. 有秋地区行動計画の策定経過	11

《有秋地区行動計画策定委員会委員名簿》

No.	氏 名	区 分	所属団体
1	宮本 民男	委員長	有秋地区社会福祉協議会 会長 ボランティア有秋
2	宮崎 榮	副委員長	有秋地区社会福祉協議会 副会長 町会長連合会会長
3	笹野 哲郎	副委員長	有秋南小学校区安心安全ネットワーク 会長
4	時谷 君子	書記	有秋地区社会福祉協議会 常任理事 ボランティア有秋
5	川崎 美津江	書記	有秋地区社会福祉協議会 常任理事 有秋地区女性部会
6	坂井 眞由美		有秋地区社会福祉協議会 副会長 民生委員児童委員協議会
7	入島 久雄		有秋地区社会福祉協議会 副会長 民生児童委員協議会 会長
8	後藤 茂男		有秋地区社会福祉協議会 常任理事 民生児童委員協議会
9	大沼 一郎		有秋地区社会福祉協議会 常任理事 ボランティア有秋 会長
10	井倉 健二		町会長連合会
11	矢城 正一		町会長連合会
12	山口 誠子		民生委員児童委員協議会
13	榊 静夫		有秋東小学校区福祉ネットワーク 会長
14	木原 延浩		有秋西小学校区小域福祉ネットワーク 会長
15	近藤 純子		更生保護女性会有秋支部 支部長
16	露崎 悦子		有秋地区女性部会
17	小川 洋介		福祉ネットワーク推進委員

あいさつ

有秋地区社会福祉協議会の福祉活動にご理解、ご協力いただき、誠に有難うございます。

有秋地区では高齢化・核家族化の進展に伴う諸課題を背景に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが出来るように各種団体と共にボランティア活動を進めて参りました。

今年度より、有秋地区社会福祉協議会は、小域福祉ネットワークや町会などの団体と協力し、「地域のみながつながり、支え合い、助け合うまちをつくろう!」を基本理念として、住みよいまちづくりのため活動計画を策定し、ボランティア活動を進めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

有秋地区行動計画策定委員長 宮本 民男
(有秋地区社会福祉協議会 会長)



有秋地区行動計画策定委員会



南小 NW 防災研修会



東小 NW ミニ茶話会



西小 NW 公園清掃 & 豚汁会

1. 「有秋地区行動計画」策定の背景と目的

近年、地域社会では「家族」を構成する人数は減り、家族同士の関わり、隣近所の付き合い、支え合い助け合う「地域のつながり」が益々弱くなってきています。加えて、様々なことが原因で、一つの家庭でいくつもの生活上の問題を抱え、悩みながら生活を送っている家庭も少なくありません。

また、一人暮らし高齢者や高齢者世帯の高年齢化に伴い日常生活を送る上での困りごとや生きがい、健康、医療、生活面での不安感を抱いている人も増えています。

そんな問題に対して公的なサービスだけでは解決できないのが現実です。これからは、地域で困っている人や家庭を支えるのは住民同士であり地域のつながりです。

そこで「有秋地区社会福祉協議会」では、多方面から意見を寄せていただき、有秋地区の地域特性に応じ、将来を見据えた「地域づくり」の道標となる「有秋地区行動計画」を平成29年度に策定委員会を立ち上げて、策定に至りました。

2. 計画の期間

計画期間は平成30年度～平成33年度となりますが、個別事業については、それぞれ単年度ごとの事業計画に反映するものとし、平成30年度から、新たに設置する「地区行動計画推進委員会」において、年度末に計画の実施状況の評価を行い次年度の事業計画に反映させます。

また、平成30年度に、現在地域で活動されている組織・団体の皆様に「活動組織現状調査」等の協力をお願いし、その結果を分析したうえで方向性を検討しながらきめ細かな地域づくりを推進していきます。

3. 計画の推進圏域と体制

計画の推進圏域は「有秋地区（行政区）」とし、また、この計画に基づいて有秋地区の「地域福祉」を進める中心となる組織は「有秋地区社会福祉協議会」と3小学校区（有秋東・有秋西・有秋南）ごとにつくられた「小域福祉ネットワーク」としていますが、その地域において「地域福祉活動」に取り組む町会や様々なその他組織・団体と連携・協働しながら有秋地区の地域福祉の推進に取り組みます。

・・・社会福祉協議会と小域福祉ネットワーク・・・

「市町村社会福祉協議会」は「社会福祉法」に基づいて組織化され、地域福祉を専門に推進する「社会福祉法人」で、市町村単位に一法人ずつ組織されています。

そして、市原市では、行政区毎（11地区）にその地域住民が主体となった「地区社会福祉協議会」、また、小学校区を単位とした「小域福祉ネットワーク」を組織化し、相互に連携・協働し、地域の実情に応じた地域福祉活動を展開しています。

・・・「地域福祉」とは・・・

少子高齢化や家族形態の変化に伴い、一人ひとりが抱える生活課題も様々なものとなってきています。これらに対応していくには、個人の努力や行政の福祉サービスだけでは十分ではなく、地域で暮らす住民それぞれが、身近にある様々な福祉課題に目を向け、地域全体で課題の解決に取り組むことが必要となってきています。

そこに住む一人ひとりが、地域社会の一員であることを認識し、地域のつながりを大切にしながら、お互いにできることを提供していくことが「地域福祉」の考え方です。今、地域社会では「支え合い・助け合う」ことのできる地域づくりが求められています。

4. 有秋地区の地域特性と課題

有秋地区は、市原市臨海工業地帯の造成に伴い、千種・姉崎西海岸に進出した各社の社宅需要に応え、千葉県が昭和 39 年から有秋台団地を造成しました。その後、昭和 45 年には角栄団地、続いて昭和 54 年には桜台団地が竣工、昭和 62 年には泉台が住宅地として開発されました。

このことにより地区人口が著しく増加したが、時代の変遷とともに社宅が大幅に減少し、平成 19 年には人口約 15,500 人であったものが現在約 14,500 人、15 歳未満の若年層割合も 10.8%(市全体 10.4%)と減少し、一方、65 歳以上の高齢者割合は平成 19 年が 13.9%だったものが 27.6%(市全体 27.1%)と年々高くなってきており、当地区でも少子高齢化が確実に進行しています。

また、同じ有秋地区にあって、天羽田、深城、豊成、立野地域などの丘陵部では畑作を中心に農業が続けられており、決して面積的に広くない地域ではありますが様々な住民生活が営まれている地域です。

●有秋地区小学校区別人口統計

H29.5.1 現在

区 分	市全体	地 区 全 体	有秋東 小学区	有秋西 小学区	有秋南 小学区
人口(人)	278,468	14,479	5,831	3,191	5,457
若年者人口 (15 歳未満)(人)	28,841	1,562	514	706	342
若年者人口割合 (%)	10.4	10.8	8.8	22.1	6.3
高齢者人口 (65 歳以上)(人)	75,511	3,989	1,457	237	2,295
高齢者人口割合 (%)	27.1	27.6	25.0	7.4	42.1
一人暮らし高齢 者数(人)	17,225	662	241	49	372
高齢者のみ世帯 数(世帯)	31,986	1,533	518	94	921

(注) 上記のデータは「小学校通学区域」での数値となりますので、行政区の数値と異なります。

~~~~~ 地 域 の 課 題 ~~~~~

(1)地域づくり

- ①高齢者が集える場、憩える場、交流する場が少ない。場所がわからない。
- ②隣近所との付き合い、関係が希薄になっている。
- ③助け合いの精神が地域に浸透していない。
- ④子育てについて相談する人がいない。窓口がわからない。
- ⑤災害が起きた時の心構えや備えが十分ではない。不安を抱えている人がいる。
- ⑥避難所に自力で行けない人がいる。
- ⑦空き巣等が頻繁に発生し、また不審者が増えて不安がある。
- ⑧小学校の敷地整備に、PTA会員の減少により、手が回っていない。
- ⑨公園や通学路、バス停などが草やごみで汚い。…等

(2)住民の日常生活

- ①見守りを必要とする人が把握できていない。
- ②高齢者が一人住まいで不安を抱えている人がいる。
- ③買い物、家事等の日常生活に困っている人がいる。
- ④困りごとがあっても地域で相談する人、相談機関がわからない。その人たちの声が聞こえてこない。
- ⑤認知症と見受けられる人が増えている。
- ⑥複合的な課題を抱える世帯が増えている。
- ⑦引きこもりがちな人が見受けられる。
- ⑧高齢者に対する悪徳商法被害が増えている。
- ⑨自ら生活（財産）管理が出来ず不安な人がいる。
- ⑩子供の登下校で危険箇所がある。困っている方々の声が聞こえてこない。
- ⑪元気に挨拶をする子どもが減っている。…等

(3)地域資源の連携

- ①関係機関・組織・団体及び福祉施設との連携が薄い。
- ②地域組織・団体の福祉活動の実態が良くわからない。
- ③地域福祉活動の目標が不明瞭である。
- ④地域の行事が少ない。…等

(4)地域づくりの推進基盤

- ①組織役員の固定化、高齢化、なり手、後継者不足。
- ②地域活動に若者の参画が少ない。
- ③地域活動の役員、ボランティアの負担が大きい。
- ④ボランティアの不足、育成の機会が少ない。
- ⑤定年退職したが、地域との関りがわからない。
- ⑥地域の福祉活動への認知・理解が乏しい。
- ⑦活動者の研修が少ない、財源が十分でない。
- ⑧町会未加入者が増えている。…等

〜〜有秋地区ではこれらの地域福祉活動を行っています〜〜

生きがいの場、集いの場、交流の場、通いの場、イベントを楽しむ場の充実…等



災害時の備えや、支援体制の充実…等



地域の環境維持の支援（清掃、草刈）…等



住みやすいまちづくり、の推進、世代間の交流…等



これらの活動を通して、地域の課題解決を図ります！

なんでも相談出来る窓口の充実、高齢者や子どもたちへの見守り、子どもたちへの挨拶運動充実…等



日常生活を支えるまちづくり、買い物支援（一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等）…等



地域にある資源との連携強化…等



地域活動の担い手・後継者不足の解消への対策（青少年層の地域活動の理解と参画）…等



5. 地域づくりの「基本理念と目標」

(1) 基本理念 …… 有秋地区として目指す地域の姿は ……

~~地域 みんながつながり、支え合い・助け合うまちをつくろう!~~

(2) 基本目標 …… 「基本理念」を達成するために ……

(1) みんなで支え合い・助け合う地域づくりをすすめます。

(2) みんなの生活を支えるための体制づくりをすすめます。

(3) みんなの顔がつながる仕組みづくりに努めます。

(4) みんなで取り組むための基盤づくりに努めます。

【 計 画 の 体 系 図 】

【基本理念】

地域 みんながつながり、支え合い・助け合うまちをつくろう!

【基本目標】

目標 1

みんなで支え合い・助け合う地域づくり



目標 2

みんなの生活を支えるための体制づくり



目標 3

みんなの顔がつながる仕組みづくり



目標 4

みんなで取り組むための基盤づくり



【取り組み内容】

- ① 気軽に集まれるコミュニティづくり
- ② 災害時に協力し合うまちづくり
- ③ 住みよい地域環境づくり
- ④ その他

- ⑤ 見守り支え合うまちづくり
- ⑥ 日常生活を支え合うまちづくり

- ⑦ 地域にある資源の連携

- ⑧ 地域福祉推進の基盤の強化

6. 有 秋 地 区 行 動 計 画 体 系 整 理 表

事業内容欄●項目＝新規取り組み活動

抽出された課題	基本 理念	カテゴリー （基本目標）	事業内容	現在の実施主体	活動・事業の方向性	年度計画（H30～H33）				
						H30	H31	H32	H33	
①高齢者が集える場、憩える場、交流する場が少ない。場所がわからない。 ②隣近所との付き合い、関係が希薄になっている。 ③助け合いの精神が地域に浸透していない。 ④子育てについて相談する人がいない。窓口がわからない。 ⑤災害が起きた時の心構えや備えが十分でない。不安を抱えている人がいる。 ⑥避難所に自力ではいけない人がいる。 ⑦空き巣等が頻繁に発生し、また、不審者が増えて不安である。 ⑧小学校の敷地整備に、PTA会員の減少により、手が回っていない。 ⑨公園や通学路、バス停などが草やごみで汚い。	地域のみんながつながり、支え合い・助け合うまちをつくらう！	1. 地域づくり（みんなで支え合い助け合う地域づくり）	①気軽に集まれるコミュニティづくり		地域における気軽に集まれるコミュニティづくりとして、既存の事業を見直し、現状把握を行い、今後の事業の方法等検討する。通いの場づくりについても実施に向けて検討する。	・既存事業は継続的に実施する。 ・実施主体と連携して取り組む。 ・平成30年度に、既存事業の見直し及び新規事業の検討をする。単年度ごとに拡充及び統合や廃止を検討する。				
			ふれあい・いきいきサロン（会食会）	地区社協						
			ふれあい・いきいきサロン（茶話会）	地区社協						
			子育てサロン（子育て会）	地区社協						
			地域福祉支援事業	地区社協、各NW						
			健康増進講座	地区社協						
			ちびっこひろば	地区社協						
			ミニ茶話会	有秋東NW						
			読み聞かせ会等の支援	各種団体						
			●「通いの場」づくり	地区社協及び各種団体						
②災害時に協力し合うまちづくり		災害時に協力し合うまちづくりとして、既存の事業の見直しや現状把握を行い、今後の事業の在り方の検討や新たにに取り組む事業を進める。	・同上							
避難所運営訓練の実施(災害支援ボランティア事業)							地区社協			
防災訓練への参加・支援							各種団体			
防犯パトロールの実施・協力							有秋西NW			
無線通信訓練							各NW、地区社協			
●避難所毎の避難所運営マニュアルの整備							町会			
●災害時要支援避難者名簿の作成・維持・運用		町会	・同上							
③住みよい地域環境づくり		住みよい地域環境づくりのため、現状把握と活動の方向性を決める。								
小域福祉NWによる公園・小学校等の美化活動							各NW			
ボランティア団体による清掃除草活動							各種団体			
④その他共通		既存事業の現状把握と見直しを行い、新規事業についても検討する。					・同上			
福祉バザー	地区社協									
地区行動計画推進事業	地区社協									
●世代間交流広場の検討	検討	・同上								
⑤見守り支え合うまちづくり						地域で見守り支え合うまちづくりのために既存事業の現状把握と、今後の検討をする。				
よろず相談所の開設（相談支援事業：有秋公民館）	地区社協									
●相談対応姉崎地区社協やアネッサとの連携	地区社協									
安心生活見守り支援事業	有秋南・東									
登下校時の見守り支援・挨拶運動	各種団体									
各NWによる通学路危険箇所等の把握・啓蒙活動	各NW									
⑥日常生活を支え合うまちづくり						日常生活を支え合うまちづくりのために、現状把握と、今後の検討をする。	検討・設置 推進			
買物ツアー（事業化・活性化推進サービス）	地区社協									
高齢者地域支え合い事業	地区社協									
●日常生活支援事業 ※桜台お助けマンのようなこと	地区社協									
●関係団体との連携体制の構築	地区社協	・同上								
⑦地域にある資源の連携						地域にある資源の連携を進めるために、地域の現状把握を行い、今後の検討をする。				
小域福祉NW 懇話会（連携・協働体制づくり事業）	地区社協									
社会福祉法人・福祉施設との連携強化（買物ツアー等）	地区社協									
各種団体との連携強化（連携づくり会議の開催）	地区社協									
●地区内の組織・団体の連携状況の把握	地区社協									
●各種行事等の連携・協働	各種団体									
⑧地域福祉推進の基盤の強化						地域福祉推進の基盤の強化を図るため、現状把握を行い、今後の検討をする。	・同上			
活動拠点の確保	地区社協									
活動の担い手の発掘と育成（人材育成事業）	地区社協									
広報・啓発事業（広報紙、回覧板・SNSの活用）	地区社協、各NW									
地区社協賛助会員制度の拡充	地区社協									
●町会（自治会）への講演・研修会等の実施	検討									
●町会未加入への対応及び町会組織結成への支援	検討									

7. 計画の進行管理

計画全体の進行管理については、計画策定作業にあたった地区行動計画策定委員会の構成メンバーを中心に構成し設置する「地区行動計画推進委員会」で行います。

この推進委員会では、「計画の目標」を達成するための活動・事業の推進に向けた具体的な方策を検討するとともに、計画全体の進捗状況を確認したうえで評価し、必要に応じて見直しを行います。

《資料編》

1. 有秋地区にある社会資源

区 分	種 別	施 設 名
保健・福祉	地域包括支援センター(1)	地域包括支援センターたいよう
	特別養護老人ホーム(1)	ゆうしゅう園
	通所介護施設(2)	ケアステーションちいきのわ らいふばでい市原店
	老人保健施設(1)	姉崎病院ケアセンター
	障がい者支援施設(7)	第2クローバー学園、ニコニコット、 グループホームポレポレ、グループホーム麦 ふるさと学舎グループホーム1, 2, 3
子育て・教育	幼稚園(3)	ふじ幼稚園、みのり幼稚園、第2姉ヶ崎幼稚園
	小学校(3)	有秋西小学校、有秋東小学校、有秋南小学校
	中学校(1)	有秋中学校
	放課後児童クラブ(4)	有秋西第1、有秋西第2、有秋東、有秋南
防 災	消防署(1)	有秋分署
	避難場所 小学校(3) 中学校(1) ゴルフ場等(2)	有秋西小学校、有秋東小学校、有秋南小学校、 有秋中学校 アネックスゴルフ、姉ヶ崎カントリークラブ
	避難所 公民館(1)	有秋公民館
	福祉避難所 特別養護老人ホーム(1)	ゆうしゅう園
行政 コミュニティ	市役所支所(1)	有秋支所
	交番(1)	有秋交番
	公民館(1)	有秋公民館
	町会(自治会)(28)	立野、片又木、迎田、永藤、不入斗、豊成、深城、 天羽田、山谷、有秋台東2-1、有秋台東2-3、 有秋台東2-4、有秋台東3、有秋台西1-1、 有秋台西1-2、有秋台南、椎の木台自治会、 雇用促進迎田住宅、桜台自治会、こぼり、 いちほら緑園都市、有秋東、あねがさきニュータ ウン、みどり、不入斗平成、有秋台東2-2、 スカイタウン有秋台西、イーストステージ有秋台

商業施設	コンビニ(5)	ミニストップ市原桜台店、ファミリーマート市原有秋台店、セブンイレブン有秋台店、セブンイレブン姉崎袖ヶ浦インター店、デイリーヤマザキ市原立野店
	スーパー(1)	スーパー 富分
医療機関	総合病院(1)	姉崎病院
	診療所・クリニック(2)	有秋台医院、泉台クリニック
	薬局(1)	伊藤薬局泉台店
	歯科医院(5)	泉台歯科医院、桜台歯科医院、ファミリー歯科にしまさ歯科医院、よしき歯科医院
交通機関	バス路線(6)	
	福祉有償運送(1)	特定非営利活動法人ともに生きる麦
金融機関	銀行(1)、ATM(1)	京葉銀行有秋台支店 ちばぎんATM(桜台、泉台)
	JA(1)	JA市原市桜台支店
	郵便局(2)	市原桜台郵便局、市原有秋台郵便局
企業	福利厚生施設(2)	三井社員クラブ、JXTGエネルギー市原クラブ
	企業社宅(14)	三井化学不入斗寮、三井化学有秋西社宅、三井化学有秋寮、東レ株式会社千葉工場東雲寮、日曹有秋共同社宅、住友化学姉崎社宅、日産化学工業(株)有秋台社宅、日産若樹寮、JFE鋼管家族寮、JFE鋼管社宅、JXTGエネルギー市原寮、JXTGエネルギー市原社宅、東邦化学工業(株)市原社宅、住化カラー千葉社宅

2. 有秋地区広報

団体名	媒 体	備 考
有秋地区社会福祉協議会	Facebook	随時更新 https://www.facebook.com/yusyusyakyo/
有秋地区社会福祉協議会	広報紙「あおぞら」	年2回(7月・12月)
有秋西小学校区 小域福祉ネットワーク	広報紙「けやき通り」	年2回
有秋東小学校区 福祉ネットワーク	広報紙「きずな」	年2回
有秋南小学校区 安心安全ネットワーク	広報紙「みなみかぜ」	年4回

3. 有秋地区行動計画策定経過

開催日	会議名	内 容
平成29年 7月27日	第1回 理事会	・地区行動計画について 市社協本部より説明
平成29年 8月16日	第5回 常任理事会	・地区行動計画策定の進め方 について検討
平成29年 9月9日	第31回 NW懇話会	・地区行動計画について NW会長へ説明
平成29年 9月27日	第6回 常任理事会	・地区行動計画策定委員会 委員選考について
平成29年 10月10日	地区行動計画 打ち合わせ	・地区行動計画策定委員会 役員推薦及び委員選考について
平成29年 10月13日	第2回 理事会	・有秋地区行動計画策定委員会 立ち上げ
平成29年 10月18日	第7回 常任理事会	・第1回有秋地区行動計画策定 委員会について
平成29年 11月15日	第8回 常任理事会	・第1回有秋地区行動計画策定 委員会について ・委員の紹介、役員選任等
平成29年 11月17日	第1回有秋地区 行動計画策定委員会	・市社協本部より説明 ・課題の抽出について
平成29年 12月13日	第9回 常任理事会	・第2回有秋地区行動計画策定委員 会について
平成29年 12月15日	第2回有秋地区 行動計画策定委員会	・課題の抽出アンケート調査結果に ついて
平成30年 1月13日	第32回 NW懇話会	・第3回有秋地区行動計画策定委員 会について
平成30年 1月17日	第10回 常任理事会	・第3回有秋地区行動計画策定委員 会について
平成30年 1月26日	第3回有秋地区 行動計画策定委員会	・課題の現状把握について
平成30年 2月17日	第4回有秋地区 行動計画策定委員会	・有秋地区行動計画の進め方 について
平成30年 2月21日	第11回 常任理事会	・第5回有秋地区行動計画策定 委員会について
平成30年 3月10日	第33回 NW 懇話会	・有秋地区行動計画策定について
平成30年 3月15日	第5回有秋地区 行動計画策定委員会	・有秋地区行動計画冊子(案)に ついて ・有秋地区行動計画策定に伴う現状 把握調査について(お願い)